

令和7年度版

# 専攻科研修科 学科案内

産業理療コース・再研修コース・情報コース



公式X



公式 YouTube



福岡県立福岡高等視覚特別支援学校

< 連絡先 >

所在地：〒818-0014 福岡県筑紫野市牛島151番地

TEL：092-925-3053 FAX：092-925-5061

MAIL：tsukamoto@fku.ed.jp（研修科教育相談担当）



## 研修科進学の特典！ (産業理療コース・再研修コース)

### ○ 臨床能力の向上

EAT（鍼通電）、TENS（経皮通電）、トリガーポイント、各種疾患・症状に対応した治療、セルフケア 等

※ 学んだことを校内外の臨床実習で実践し、フィードバックする！

### ○ 各種治療機器等の活用

EATやTENSが実施できる最新の物理療法機器やサーモグラフィ等の検査機器を活用した授業の実施

※ 治療機器を活用する力と、治療を客観的に評価する力の向上！

### ○ 外部講師による授業

集中講義：大学教授（スポーツ鍼灸）、整形外科医（スポーツ医学）

応用実習：開業鍼灸師（経絡治療、太極療法、中医学）

リハビリテーション医学：スポーツトレーナー、開業鍼灸師

心理学：公認心理師 ビジネス教養：ビジネスマナー講師

診断学：開業鍼灸師

経営：開業鍼灸師、ユニバーサルデザインコンサルタント

### ○ 専門書（教科書）の活用

鍼灸手技療法等に関する専門書のデータ（OCR、TXT）を提供

### ○ 大学と連携したオンライン授業の実施

EATの実技、多職種カンファレンス 等

### ○ 校外臨床実習（R7年度予定）

福岡県庁、朝倉市健康福祉館、企業等で年間30回以上実施予定

### ○ 年度途中の就職も可能

### ○ 自主研修（出席扱いのアルバイト）を推奨

### ○ 公益財団法人東洋療法研修試験財団「生涯研修修了証書」の付与

# Ⅰ 目的に応じた3つのコース編成

## ○ 産業理療コース

産業衛生（ヘルスキーパー）、スポーツ分野、高齢者医療等で活躍するための実践的な知識や技能を身に付け、就労や治療院開業等を目指すアドバンスコースです。

## ○ 再研修コース

理療の基礎的・基本的な知識や技術の更なる向上を図り、生徒自身のニーズ等に合った就労や治療院開業等を目指すベーシックコースです。

## ○ 情報コース

あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師の国家資格取得に向けた学力を養成するとともに、基礎的・基本的な技能の向上を目指すコースです。

※産業理療コース・再研修コースでは、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師のいずれかの資格を取得している方が対象となります。

※全コース1年間の課程です。

## 《 教科書について 》

産業理療コース・再研修コースでは、鍼灸手技療法に関する様々な専門書を教科書として採用しています。情報コースでは、国家試験の問題集や受験の参考書を教科書として採用しています。各種教科書は電子データ（OCRやTXT）としても提供することが可能です。

## 《 教科書の一例 》

### ○ 産業理療コース・再研修コース

- ・鍼灸療法技術ガイド ・はじめてのトリガーポイント鍼治療 ・適切な判断を導くための整形外科徒手検査法 ・運動療法のための機能解剖学的触診技術 等

### ○ 情報コース

- ・国家試験対策解剖学マスター ・国家試験対策生理学マスター 等

## 2 実践的な研修内容

産業理療コースと再研修コースでは、専属教員だけでなく各専門分野の外部講師を招聘して講義や実習を行っています。

### (1) 専属教員による講義・実習

#### ○ 基礎・臨床医学講座

機能解剖学やトリガーポイント等について学習し、臨床で活かせる解剖学の知識や、実践的な触診能力の向上を目指します。また、診療で活用する物理療法機器（各種低周波治療器等）や客観的評価機器（サーモグラフィ、自律神経検査機器等）についても実践的に学び、総合的な臨床能力の向上を目指します。



物療機器や検査機器等

#### ○ 東洋医学講座

東洋医学と西洋医学を統合した診療プロセスや、鍼灸マッサージ治療のエビデンスについて学習し、理論に基づいた治療の実践につなげます。

#### ○ 臨床講座

附属臨床研修センターでは、地域の方等を対象とし、年間をとおして鍼灸手技療法の外来臨床を実施しています。施術は研修科所属の教員が主に担当します。生徒は、基礎・応用の実習、内部患者を対象とした治療等を経験したのちに外来臨床を行っていきます。また、福岡県庁等において、校外臨床実習も定期的（年間30回以上）に行っています。

#### ○ 情報処理講座

就労や自主的な学びに応用できるICT機器の活用能力向上を目指します。視機能やニーズに応じてアクセシビリティ機能を設定し、実態に応じたパソコンやタブレット端末の実践的な活用方法について学習します。

## ○ 自主研修

整骨院等で平日週1日程度の自主研修（アルバイト）をすることが可能です。校長が許可した場合は授業の出席として取扱います。研修先での課題を臨床講座の授業の中で改善することができ、就労の安定につなげることができます。

## ○ 技術・経営

鍼灸マッサージ師として就労や開業するために必要な知識、キャリア形成等について学習します。後期では、外部講師を招聘し、治療院の開業や経営に関する実践的な内容について協議を交えながら学んでいきます。

## ○ 臨床能力評価

臨床能力に関する総合的な評価を年2回実施します。評価結果に基づいて課題となる部分や目標を生徒と職員で共有し、課題の改善に向けた指導内容を取り入れることで、スキルアップを支援していきます。



臨床能力評価の様子

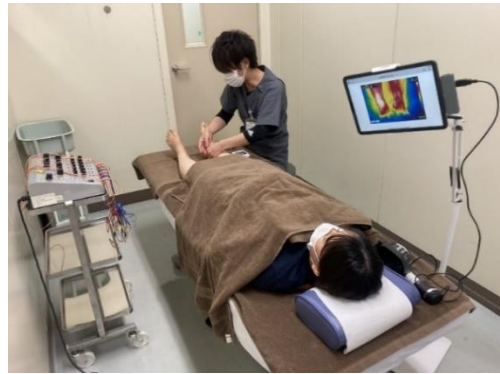
## 研修科では「福岡モデル」による 人材育成と雇用拡大に取り組んでいます！

福岡モデルとは、手技療法だけではなく、鍼灸治療や物理療法機器を活用した治療も積極的に取入れ、労働に関連する様々な症状に対して医学的にアプローチするヘルスキーパーのスタイルと定義しています。



※ 雇用を検討する企業に直接出向き実習を行っています。また、障がい者雇用のイベントに治療ブースを設け、人事担当者に治療を体験してもらうなど、様々な形で啓発活動を行い雇用拡大を図っています。

< 附属臨床研修センターでの外来診療の様子 >



< 専属教員による講義・校外臨床実習の様子 >



## (2) 充実した外部講師陣による高度な専門教育

総勢11名の外部講師が授業を担当しています。大学教授、整形外科医、開業鍼灸師、スポーツトレーナー、公認心理師、ビジネスマナー講師など、様々な分野で活躍されている先生方から、臨床に役立つ実践的内容を学ぶことができます。また、大学（筑波技術大学とのオンライン授業）や企業（医療機器メーカー等）と連携した授業も定期的に行っています。

### ○ 診断学

開業されている鍼灸師の先生から、病態把握の仕方や考え方について学びます。実技指導を交えたケーススタディ形式の授業で、身体の動きに伴って引き起こされる様々な症状を指標にして診断していくメソッド等を学びます。

### ○ リハビリテーション医学

スポーツトレーナーやスポーツ分野に精通する鍼灸マッサージ師の先生からテーピングや運動学に基づいたアプローチ等、スポーツ領域にて応用できる治療方法を学びます。

### ○ 臨床応用実習

開業して活躍されている3名の鍼灸マッサージ師の先生から、経絡治療、太極療法、中国鍼法等の東洋医学的アプローチに関して、その理論と実践的な治療方法について学びます。

### ○ 臨床心理学（4月～9月）

臨床経験豊富な公認心理師から、心理学の基礎、カウンセリングマインド、理療診療に役立つ技法等について講義・演習をとおして学びます。

### ○ ビジネス教養（10月～2月）

医療機関での指導実績が豊富なビジネスマナー講師から、基礎的・実践的なビジネスマナーや患者に対する接遇術について学びます。

## 《 集中講義 》

整形外科、スポーツ鍼灸の授業について年1回実施します。

### ○ スポーツ医学

スポーツ領域を専門とする整形外科医から最新の現代医学的診療プロセスとスポーツ外傷・障害への対応等について学びます。

### ○ スポーツ鍼灸

高齢者にみられやすい運動器疾患やスポーツ障害・外傷に対するアプローチやセルフケアについて、その理論や実践的な治療方法について学びます。実習では主に低周波鍼通電療法（EAT）を行います。

※あま指師の資格取得者は表面電極（TENS）を活用して実習に参加します。

## 《 オンライン授業 》

筑波技術大学東西医学統合医療センターと本校をウェブ会議システムでつなぎ、低周波鍼通電療法等の講義・実習や多職種カンファレンスを実施しています。同センターの医師、鍼灸マッサージ師、理学療法士の先生方から、最新の知見に基づいた実践的内容を学びます。

## 《 学会・研修会等 》

全日本鍼灸学会、現代医療鍼灸臨床研究会、卒後鍼灸手技研究会等の理療に関係する学会や研究会で示された最新の知見を授業に積極的に取り入れており、科学的根拠に基づいた治療の実践を目指しています。

## 《 企業との連携 》

理療の業界に関連する企業との連携を深め、最新トピックの情報提供、最新治療機器の紹介、各種セミナーや研修会の紹介等を積極的に行っています。

## 《 その他の行事 》

職場見学実習（ニーズに応じて複数回実施）、九州大学における解剖見学実習（年1回）

< 外部講師による講義・実習の様子 >



○ リハビリテーション医学



○ 臨床応用実習



○ 経営学



○ 診断学



○ 臨床心理学



○ ビジネス教養



○ 整形外科 (スポーツ医学)



○ スポーツ鍼灸



○ オンライン授業 (筑波技術大学)





## 在校生の声



Q：研修科のおすすめポイントや1年間学んだ感想等を教えてください。

A：1年を通して実技や臨床実習の機会が豊富にあり、日が経つにつれて対応できる症状や疾患が増えていくことを実感できます。授業で学んだことを臨床実習で実践し、上手くいかなかった部分を再度、授業でフィードバックして臨床に取り組むことで技術を固めることができました。

A：鍼通電やTENSに関する知識と技術が向上し、合理的に治療ができるようになりました。様々な機器が整備されていて、充実した環境で学ぶことができたと思います。

A：触診力やピンポイントで刺鍼する力を身につけることができます。研修科入学前は鍼治療の効果に半信半疑でしたが、ピンポイントで刺激できれば大きな改善につながることを数多く体験することができました。

A：技術の引き出しが少なく、単純な治療しか出来なかったのですが、ステージ（肩関節周囲炎など）やタイプ（頭痛など）に応じた治療方法が実施できるようになりました。

A：教科書（専門書）はOCR処理されたPDFのデータもいただけます。スクリーンリーダーに対応していて、音声を聞きながら学習できます。私は、拡大すれば少し画像が分かる弱視なので、タブレット端末で画像を確認でき、とても助かりました。

A：理療科を卒業した頃は、仕事をしたい気持ちはあったけれど、不安の方が大きくて、なかなか一歩を踏み出すことができませんでした。整骨院で自主研修に取り組む中で、自分が役にたつことが実感できてとても嬉しかったし、自信にもつながりました。

A：臨床解剖学を学べたことが大きかったです。実際にはあまり意識していなかった筋や靭帯が、治療ではとっても重要だったことが多く、国家試験に応じた知識だけでは、効果の高い治療はできないと痛感させられました。

A：トリガーポイントを学び、治療に取り入れていく中で、治療効果の高さを実感しました。研修科入学前は、硬結や筋緊張を見つけて全体を施術していました。トリガーポイントを学んでからは、筋肉ごとにどこを施術すれば良いのかが分かり、スムーズに治療できるようになっています。

A：ビジネス教養で、電話対応を習いました。ビジネスマナーを教わる機会がなかった私は、言葉遣いに気を遣うことが多く、スムーズに話すことが難しかったです。正しい敬語や、声のトーンなど、細かい部分まで指導してくださったので、とても勉強になりました。就職後は、施術だけでなく、電話対応などのビジネスマナーも必須になるので、働く前に習うことができて、安心しました。

A：研修科では治療に直結することを沢山学ぶことができると感じました。とても詳しく臨床に直結したことを学べ、そして実習で実践できるのは研修科だからこそだと思います。就職するにしても、開業するにしても、この1年間の経験の有無は大きな差になると実感しました。

A：研修科の1年を過ごすことで、鍼灸マッサージ師として自分でどのように学べばよいのか、その具体的な方法が自然と身についたと思います。卒業後も自ら学び臨床能力を向上させたいと思います。

※ 上述の「在校生の声」は1年間の研修期間が終了した年度末に産業理療コース・再研修コースの生徒を対象に実施したアンケートやヒヤリング結果から一部を抜粋して掲載しています。



### (3) 情報コース

#### ○ 理療学習支援講座

情報コースは、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師の国家資格取得を目指したカリキュラムで、専門基礎科目、専門科目からなっています。模擬試験も年7回程度実施しています。詳細については情報コースの教育課程を確認した上で、教育相談担当者までお問い合わせください。



情報コースの授業の様子

### 3 卒業生の進路先

ヘルスキーパー、高齢者施設、医療機関、整骨院、訪問マッサージ、治療院開業 等

#### < 令和6年度の進路実績 >

産業理療コース 在籍3名

全員がヘルスキーパーとして就労予定

※ 企業と雇用に向けた最終協議中を含みます（令和7年5月現在）。

※ 全ての企業が鍼灸治療や低周波治療を導入予定です。

※ 他のコースでは訪問マッサージ等の進路で卒業生が活躍しています。





## 【 研修科入学案内 】

- 1 学校案内及び願書資料請求の際は、必ず返信用切手270円を同封してください。
- 2 入学に際して、産業理療コース・再研修コースでは、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師のいずれかの免許を取得していることが必須となります。なお、令和8年3月の国家資格取得見込者も対象となります。情報コースについては、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師のいずれかの国家試験受験資格を有する者、又は令和8年3月に所定の学科を卒業し、国家試験受験資格を取得見込の者が対象となります。
- 3 産業理療コース・再研修コースでは、承認を受けた場合、自主研修として特定の履修方法により働きながら研修を行うことができます。
- 4 卒業後の資格として、公益財団法人東洋療法研修試験財団の生涯研修修了証書が付与されます。(産業理療コース・再研修コースのみ)
- 5 給食費、校納金等は必要ですが、家庭の所得に応じて就学奨励費が支給されます。但し、教科書代については全員支給されます。

## 【 入学者募集要項について 】

令和8年度の入学者募集要項は12月上旬頃に配布予定です。入学を希望される方は、必ず入学者募集要項を確認の上、受検手続きを行ってください。

## 【 教育相談について 】

入学を希望される方には原則教育相談を実施しています。様々な事情で来校が難しい場合はオンラインによる教育相談も行っています。なお、教育相談は予約制となりますので、希望される場合は、まずお電話をお願いします。

< お問い合わせ先 >

電 話:092-925-3053

担当者:塚本(専攻科研修科主任)

